

運輸部

仕事の
窓

3



周知の様子

プレジャーボートの海難事故発生件数は、年間900件前後と依然として海難全体の3割を超える状況が続くとともに、死者・行方不明者を伴う海難についても全体の約3割をプレジャーボート関連が占めている状況です。また、近年、船舶安全法に基づく船舶検査を適切に受検

こうした状況を踏まえ、運輸部としては、海上保安庁等関係機関と連携を密にし、マリンドーンウィークから夏期休暇期間中にかけて、プレジャーボート等小型船舶に対して、船舶検査の受検、小型船舶操縦士免許に関する安全キャンペーンを実施しています。また、本年4月1日から施行された小型漁船に対する救命胴衣（ライフジャケット）着用義務範囲の拡大等

しない小型船舶が毎年3〜4万隻発生していることが明らかになっています。このような小型船舶を放置すると、船体、機関の整備不良の可能性も高まり海上の人命の安全に重大な支障を及ぼすことが懸念されます。

Point

プレジャーボート等を運航するには船舶の検査及び操縦免許が必要です。

プレジャーボート等小型船舶に対する安全キャンペーンを実施

についても併せて周知啓蒙活動を実施しています。

なお、従来から実施している小型船舶操縦士の遵守事項（①酒酔い等操縦禁止 ②遊泳者等付近での疾走等禁止 ③免許者の自己操縦 ④救命胴衣（ライフ

ジャケット）の着用 等）についての周知啓蒙を伴うパトロール活動の際にも、併せてこれらの事項の確認を行い、ソフト、ハードの両面から小型船舶の安全キャンペーンを実施することにより安全確保を推進しています。

ボートを安全に利用するために

船舶の定期検査・中間検査を受けましょう！

定期検査・中間検査を受けずに船舶を運航することは船舶安全法に違反します。

検査の種類と検査を受ける時期

検査の種類	検査を受ける時期
定期検査	毎年1月1日から3月31日まで
中間検査	毎年4月1日から6月30日まで
追加検査	毎年7月1日から9月30日まで

ボートの操縦には免許が必要です！

ボートの種類、大きさによって必要な免許の種類が異なります。

免許の種類と必要な条件

免許の種類	必要な条件
ボート操縦免許	1. 年齢が18歳以上であること 2. 身体が健康であること 3. 船舶の構造、性能、操縦方法について必要な知識と技能を有していること
小型船舶操縦免許	1. 年齢が18歳以上であること 2. 身体が健康であること 3. 船舶の構造、性能、操縦方法について必要な知識と技能を有していること

遵守事項を守りましょう！

① 酒酔い等操縦禁止 ② 遊泳者等付近での疾走等禁止 ③ 免許者の自己操縦 ④ 救命胴衣（ライフジャケット）の着用

国土交通省 警察庁 海上保安庁

チラシ



周知の啓蒙対象船舶